

## 東京大学地震研究所 助教 募集要項

1. 職名及び人数： 助教 1 名
2. 採用予定時期： 採用決定後のできるだけ早い時期
3. 契約期間： 期間の定めなし

なお、本研究所の教員の任期に関する内規により、満 55 歳を超える教員については、次年度の初めに教員の所属する組織（分野）の職に 5 年以内の任期を定める。再任は本研究所教授会の承認を得た場合に 1 回限り可とする（ただし、東京大学教員の就業に関する規程に定めるところの定年による退職の日を超えることはできない）。詳細については、問い合わせ先に照会のこと。

4. 試用期間： 採用された日から 6 月間
5. 就業場所： 地震研究所（東京都文京区弥生 1-1-1）
6. 所属： 採用後に決定
7. 研究分野： 津波研究分野

地震研究所では、沿岸や沖合で記録された津波波形と数値シミュレーションを組み合わせ、地震や火山噴火による津波の発生や伝播、さらには津波の予測に関する研究を行っている。本公募では、海底観測や宇宙技術等によって取得される膨大なデータを新たな視点で見直し、解析戦略を立てて固体地球科学に軸足を置いた革新的な津波研究を進める人材を求める。この人材には、既存データの新規解析手法の開発とともに、新たな津波観測技術の開発なども期待されている。また、本公募で採用された者には、大学院教育を通じて次世代の人材育成に貢献することも期待される。

8. 就業時間： 専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分勤務したものとみなされる。
9. 休日： 土・日、祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
10. 休暇： 年次有給休暇、特別休暇 等
11. 賃金等： 学歴・職務経験等を考慮して決定。昇給制度あり。  
参考 博士修了/月額 34 万円～  
諸手当 賞与（年 2 回）、通勤手当（原則 1 月あたり 55,000 円まで）  
の他、本学の定めるところによる。
12. 加入保険： 文部科学省共済組合、雇用保険に加入
13. 応募資格： 博士の学位を有する者（外国での同等の学位を含む）

14. 提出書類：以下(1)～(6)を各 1 部（提出書類は返却しません）

(1) 東京大学統一履歴書（以下の URL からダウンロードし作成すること。記入例は「記入例 2（理系教員）を参照）」

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>

※ 応募の段階では履歴書 No. 2 への署名は不要です。

(2) 研究業績リスト（査読の有無を区別すること。投稿中の論文も含めてよいが、投稿中であることを明記すること。）

(3) 主要論文の別刷り 3 編程度（コピー可）

(4) 研究業績の概要（2000 字程度）

(5) 今後の研究・教育計画（2000 字程度）

(6) 応募者について参考意見をうかがえる方（2 名）の氏名と連絡先と E-mail アドレス

15. 応募書類提出方法：所定場所へのアップロード

事前に、件名を「津波研究分野 助教応募」としたメールを、下記の庶務チーム（人事担当）まで送付して下さい。担当から書類送付先フォルダを連絡しますので、応募期限までに、応募書類一式をフォルダにアップロードして下さい。

東京大学地震研究所 庶務チーム（人事担当）

E-mail: jinji%eri.u-tokyo.ac.jp 電話: 03-5841-8789

(%を@に置き換えて下さい.)

16. 応募締切：令和 4 年 10 月 31 日（月）午後 5 時 必着

17. 問い合わせ先：東京大学地震研究所 計算地球科学研究センター 長尾大道

TEL: 03-5841-1766 E-mail: nagaoh%eri.u-tokyo.ac.jp

(%を@に置き換えて下さい.)

18. 募集者名称：国立大学法人東京大学

19. その他：取得した個人情報は、本人事選考以外の目的に利用しません。

外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。

「東京大学男女共同参画加速のための宣言（2009.3.3）」に基づき、女性の積極的な応募を歓迎します。

